

(参考資料)

- 3 安全と安心のまち
(3) 効果的で調和のとれた土地利用
71 中心市街地活性化重点区域の空き店舗率

	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 (H18年度)	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備考
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20.5% (H18年度)	20.5%	維持	

確認内容：空き家についての統計資料はありませんでした。

商店街の空き店舗の状況						H18年10月1日現在			説明	
商店街等の名称		営業店舗	空き店舗	総店舗数	空き店舗率	出典：商工港湾課 基準：重点区域内の3商店街の総店舗に占める空き店舗の割合				
能代市柳町商店街振興組合		61	6	67	9.0%	目標指標の趣旨：中心市街地活性化の目安として、重点区域の空き店舗率の減少を目指す (→増加傾向にある空き店舗率の抑制を目指す) 目標値の捉え方 5年後の目標：基準値の水準を維持する 10年後の目標：基準値の水準を維持する				
能代市駅前商店街振興組合		44	13	57	22.8%					
能代市皇町商店街振興組合		50	21	71	29.6%					
小計		155	40	195	20.5%					
能代中央商店会		34	5	39	12.8%					
能代南地区商店会		58	0	58	0.0%					
能代中和大通り商店会		46	11	57	19.3%					
能代西大通り商店会		25	7	32	21.9%					
二ツ井町駅通り商店会		84	22	106	20.8%					
二ツ井町本町通り商店会		40	15	55	27.3%					
合 計		442	100	542	18.5%					
※各商店街に対する電話聞き取りにより作成										

(担当：商工港湾課)

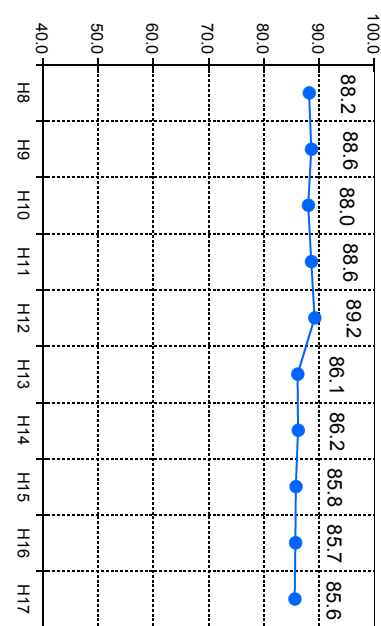
(参考資料)

- 3 安全と安心のまち
(4) 快適で暮らしやすい住環境
72 水道普及率

	10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H17	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備考
	—	88.2	88.6	88.0	88.6	88.6	89.2	86.1	85.8	85.7	85.6%	86.0%	87.0%	

(参考資料)

参考) 上記の内訳		H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2	H 1 3	H 1 4	H 1 5	H 1 6	H 1 7
能代地域行政区域		54,424	54,162	53,817	53,437	53,003	52,561	52,250	51,971		
給水人口		52,332	52,380	51,975	51,664	51,678	49,684	49,426	49,229	48,819	
普及率		96.2%	96.7%	96.6%	96.7%	97.5%	94.5%	94.6%	94.7%	94.6%	
二ツ井地行政区域		12,560	12,403	12,216	12,030	11,844	11,736	11,572	11,450	11,267	
給水人口		6,722	6,574	6,139	6,362	6,181	5,661	5,582	5,215	5,063	
普及率		53.5%	53.0%	50.3%	52.9%	52.2%	48.2%	45.5%		44.9%	
能代市行政区域		66,984	66,565	66,033	65,467	64,847	64,297	63,822	63,421	62,848	
給水人口		59,054	58,954	58,114	58,026	57,859	55,345	55,008	54,444	53,882	
普及率		88.2%	88.6%	88.0%	88.6%	89.2%	86.1%	86.2%	85.8%	85.7%	



説明	
出典：水道課	
基準：行政区域内人口に占める給水人口の割合、年度末現在	
目標指標の趣旨：快適な生活環境の目安として、水道普及率の増加を目指す	
目標値の捉え方	
5年後の目標：86%を目安に0.5%程度の増加を目指す	
10年後の目標：さらに1%の増加を目指す	
(担当：水道課)	

3 安全と安心のまち

(4) 快適で暮らしやすい住環境

(参考資料)

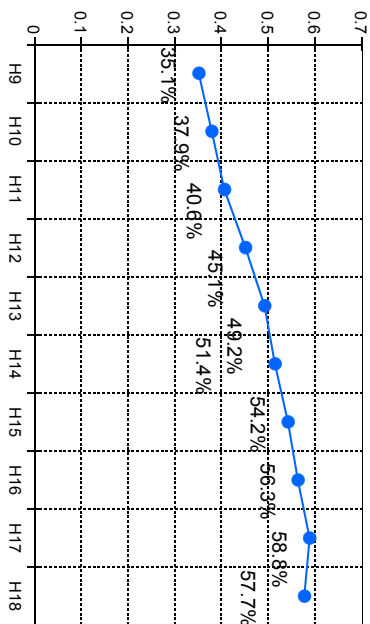
73 汚水処理人口普及率

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H18	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備考
H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	57.7%	67.6%	80.0%	
—	35.1	37.9	40.6	45.1	49.2	51.4	56.3	58.8	(H18年度末)				

参考) 上記の内訳

人口	68,220	67,665	67,034	66,614	66,007	65,543	65,115	64,573	63,985	63,298		
処理人口	23,941	25,670	27,231	30,050	32,486	33,702	35,310	36,357	37,635	36,504		
普及率	35.1%	37.9%	40.6%	45.1%	49.2%	51.4%	54.2%	56.3%	58.8%	57.7%		

※処理人口には公共下水道、農業集落排水、浄化槽を含む



説明	
出典：下水道課	
基準：行政区域内人口に占める汚水処理人口の割合、年度末現在	
目標指標の趣旨：快適な生活環境の目安として、汚水処理人口普及率の増加を目指す	
目標値の捉え方	
5年後の目標：1%程度の増加を目指す	
10年後の目標：80%を目安に12%程度の増加を目指す	
(担当：下水道課)	

3 安全と安心のまち

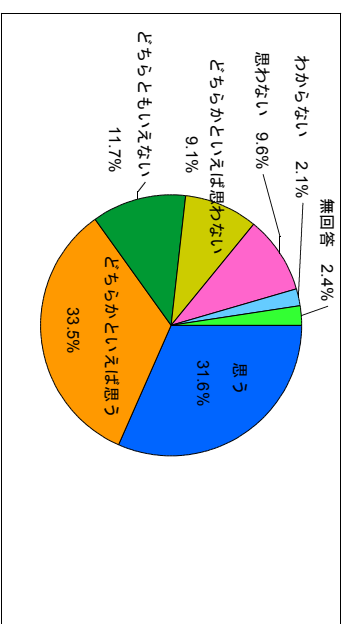
(4) 快適で暮らしやすい住環境

(参考資料)

74 飲用水の確保や生活排水の処理など、衛生的な生活環境は維持されていると思う市民の割合

10年前	9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	基準値 H19	5年後目標値 (平成24年度)	10年後目標値 (平成29年度)	備考
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	65.1%	69.0%	75.0%	市民意識調査

衛生的な生活環境は維持されている



説明	
出典：市民意識調査	
調査時期：H19.10月、H20.7月	
集計値：「思う」「どちらかといえば思う」の計	
目標指標の趣旨：衛生的な生活環境の目安として、飲用水確保や生活排水処理が維持されていると思う人の増加を目指す	
目標値の捉え方	
5年後の目標：(86.0% (水道) + 67.6 (汚水)) ÷ 2 × 0.909 ≒ 69.0%	
10年後の目標：(87.0% (水道) + 80.0 (汚水)) ÷ 2 × 0.909 ≒ 75.0%	
※基準値では、水道普及率 (85.6%) と汚水処理人口普及率 (57.7%) の平均値 (71.65) に対して、市民意識調査では65.1%が衛生的な生活環境が維持されていると感じている。(割合=0.909)	
(担当：水道課)	
(担当：下水道課)	